



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001 2015年版を取得後、返上。			3.9			6	7					12	13.3	14	15							
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HP等で環境への取組を公開している。												12.6										
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場をLED化するなどLED化を積極的に推進している。 ・太陽光発電については、積極的に検討している。 【予定】増改築時に屋根に太陽光パネル設置予定。							7.2						13									
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・コピー用紙の再生紙購入、裏紙の活用をしている。 ・コピー機のトナーリサイクルを行っている。												12.2	13	14	15							
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に明記し周知している。 ・コンプライアンス研修でも事例を使い周知している。																	16	16.5				
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に明記し周知している。 【予定】マインドブックへ掲載予定																		16				
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得、管理を行っている。									8.2	9												
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・特定個人情報取扱規程に則り、適切に管理している。 ・就業規則等で周知している。																			16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取り扱いはない。 ・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																			16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている。					5			8			10		12	13	14	15	16	17				
28		製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱い説明書を作成している。			3.9									12.4									
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	・お客様からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・損害保険に加入している。										9												
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	・環境に配慮した製品の開発に取り組んでいる。						6						12	13	14	15							
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	・電動車両、水素エンジン車両の部品加工機を開発、提供している。 ・長野県SDGs推進企業登録制度に参加し取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・敷地境界の環境測定を定期的実施し、地域との対話も積極的に行っている。 ・2020年地域未来牽引企業に認定された。				4						9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域活動に積極的に参加し、各種団体への寄付活動。 ・地元の中学生、高校生の職場体験受入を積極的にしている。				4									11			14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域人材の雇用、定期的な採用。 ・来訪者への土産品は地域のモノを利用。										8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・企業理念「私たちの使命」「私たちの基本方針」「私たちの行動」を全社員で共有している。 ・中期経営計画、年度毎の経営方針、個人目標を連鎖										8	9								17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・コンプライアンス研修を定期的実施している。 【予定】全社員が必携する「マインドブック」を作成中																			16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・総務部がその役割を担当している。																			16	
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・株主や従業員、取引先、金融機関等と適宜対話を行い、適切に対応している。																		16	17	
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクの洗い出し、評価を行った上で適切な対策を講じている。																			16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・エグロマネジメントシステムを中心として、企業として社会的責任を果たしていく姿勢を示している。																				16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・「事業継続計画」を策定している。実効性を高めるため、事故時に検証し、加筆修正している。												9		11		13 13.1				16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・専門家を交えて、対策を検討している。											8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
  - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）